

委員会のおうづき

総務 教育

常任委員会

副町長給料削減案 否決すべきに



委員長 宮川 徳光
みやがわ のりみつ

●黒潮町副町長の給料の特例に関する条例制定

副町長給与削減案 全会一致で否決に

今回、本委員会に付託の専決処分承認1件、令和元年度の一般会計及び特別会計決算の認定4件、条例の制定と一部改正2件、令和2年度の一般会計及び特別会計の補正予算2件、協定の一部変更1件の10議案は、審査の結果、9議案が全会一致で可決すべきもの、1議案が全会一致で否決すべきものとなった。

●黒潮町副町長の給料の特例に関する条例制定

前町長の辞職に伴う条例制定で、職員の不祥事については、組織のトップがその責を負うというもの。内容は、令和2年10月分の給料の20%削減するもの。

委員より、責任の取り方は、内容に応じて取るべき者が適切に取らなくてはならないが、提出の根拠はとの質疑があった。執行部からは、職員等

については、国の方の懲戒の指針により決められているが、特別職につ

てはその指針がなく、これまでの事例に合わせて対応している。今回の件については、そう言った事例も無かったため、職員の場合として考えて提案をしたとのこと。

その後の討論では、「今回の件は、責任を問われる内容ではない」旨の反対討論が4名の委員からあった。

採決の結果、全会一致で否決すべきものとなった。



本庁舎（令和2年9月）

●令和元年度情報センター特別会計決算

インターネットのスピードアップは近年、課題となっていた。インターネットのスピード低下への対応はとの質疑があった。

執行部からは、昨年度では対応していない。令和2年6月から7月頃に対応を予定していたが、現状の予定では、10月からその対応をして、現在、1ギガでサービスしている回線速度を1・5ギガに上げる予定とのことだった。

●令和2年度一般会計補正予算

職員数のバランス 臨時職多いのでは

給与費明細書関連で、会計年度任用職員（臨時職員）の338人にはパートも含むとのことだが、全職員数515人に対して比率が大きいのである。また、人件費削減も考えなくてはいけないが、臨時職員に頼りすぎの思いもある。バランスをどう考えるかとの質疑があった。

執行部からは、会計年度任用職員が多くなる要因の一つが、保育士や運転手のパートが多いことによるもの。この中には、1時間から2時間のパートの方も多い。イメージとしては、正職員200人、会計年度任用職員100人を持っているが、前述の理由などにより臨時職員が多い状況だ。ただ、類似団体の数と比較して著しく正職員数が少ない状況ではない。なお、今年度も、欠員なども考慮して5人ほどの正職員採用を予定しているとのことだった。